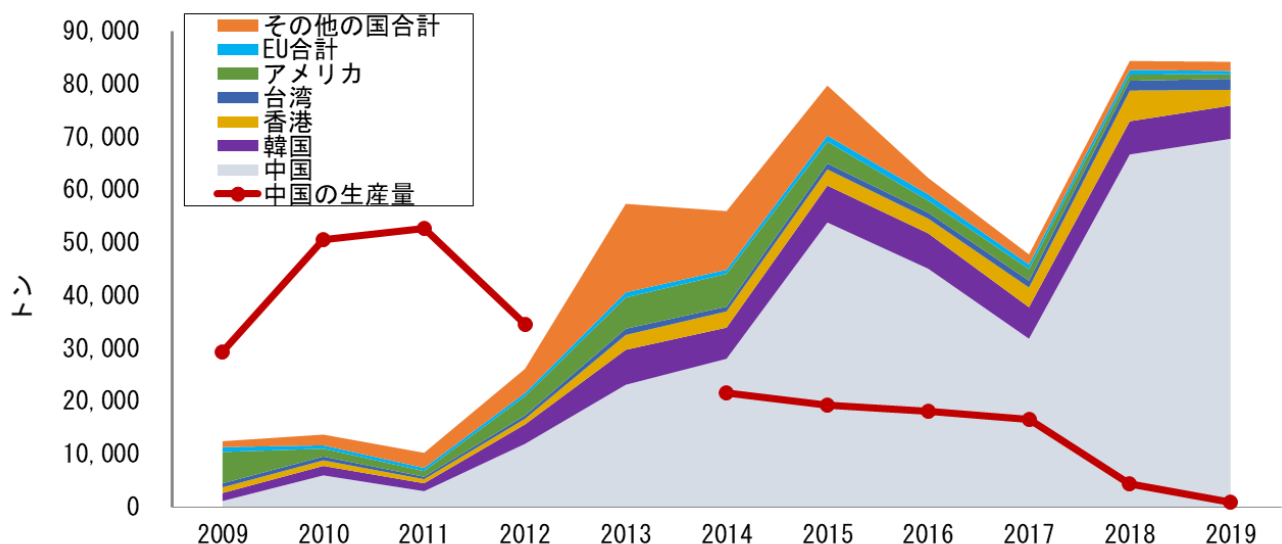


近年の国産ホタテガイの輸出動向

- 国産ホタテガイは世界各国に輸出され、農林水産物の品目別輸出金額の第1位（2019年：生鮮・冷蔵・冷凍84千トン、447億円、調整食料品12.8千トン、156億円）。
- 近年、中国へのホタテガイの輸出が急増（世界シェア：輸出量約6～8割、輸出金額4～5割）。輸出品の大半は殻付きの冷凍品。国産ホタテガイと同種の蝦夷扇貝の生産量の減少による。一方、EU諸国を含め他国への輸出品の主体は冷凍貝柱で、輸出量や輸出金額はほぼ横ばい。また、韓国等には、冷凍貝柱のほか、生鮮（活）や干し貝柱等の輸出が好調。
- 殻付きの冷凍品の輸出拡大は、相手国の需給状況に国内の需給や小売価格が左右されることから、国内で一次加工を行った冷凍貝柱等の輸出の振興が望まれるが、そのためには、相手国が求めるHACCP等の衛生管理の一層の取組強化や、一次加工の機械化の促進等によるコスト削減が必要。

世界への輸出量（生鮮・冷蔵・冷凍）と中国における蝦夷扇貝の生産量



資料：世界への輸出量（生鮮・冷蔵・冷凍）は財務省貿易統計。中国における蝦夷扇貝の生産量は、同国の主要産地（獐子島：遼寧省大連市の沖合付近）の生産量で、2009～2018年は（海洋管理協議会）のウェブサイトで公表されているサーベイランスレポートから引用、2019年は中国紙報道を基に2018年の値から推計。